

# 社会福祉法人心泉会定款

令和3年5月27日



# 社会福祉法人 心泉会 定款

## 第一章 総則

(目的)

第一条 この社会福祉法人(以下「法人」という。)は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第一種社会福祉事業

軽費老人ホーム(ケアハウス)「ケアハウスローズガーデン」の設置経営  
特別養護老人ホーム「特別養護老人ホームローズガーデン」の設置運営

(2) 介護保険事業

介護老人福祉施設及び短期入所生活介護の設置運営

(名称)

第二条 この法人は、社会福祉法人心泉会という。

(経営の原則等)

第三条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、「地域の独居高齢者、子育て世帯、経済的に困窮する者等」を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第四条 この法人の事務所を長野県松本市中山 7494 番地 10 に置く。

## 第二章 評議員

(評議員の定数)

第五条 この法人に評議員 7 名以上を置く。

(評議員の選任及び解任)

第六条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、事務局員 1 名、外部委員 1 名の合計 3 名で構成する。

3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。

4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員が出席し、かつ、外部委員が賛成することを要する。

(評議員の任期)

第七条 評議員の任期は、選任後六年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。
- 3 評議員は、第五条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の資格)

第八条 評議員は社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者のうちから、当該定款の定めにより選任する。

(評議員の欠格事由)

第九条 次に掲げる者は、評議員となることができない。

- 一 法人
- 二 成年後見人又は被保佐人
- 三 生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法又はこの法律の規定に違反して刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者
- 四 前号に該当する者を除くほか、禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者
- 五 社会福祉法第五十六条第八項の規定による松本市の解散命令により解散を命ぜられた社会福祉法人の解散当時の役員
- 2 当法人の役員又は職員
- 3 評議員のうちには、各評議員について、その配偶者又は三親等以内の親族その他各評議員と厚生労働省令で定める特殊の関係がある者(心泉会定款施行細則、別紙2-①記載)が含まれることになってはならない
- 4 評議員のうちには、各役員について、その配偶者又は三親等以内の親族その他各役員と厚生労働省令で定める特殊の関係がある者(心泉会定款施行細則、別紙2-②記載)が含まれることになってはならない

(評議員の報酬等)

第一〇条 必要に応じて、各年度の総額が100万円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬として支給することができる。

## 第三章 評議員会

(構成)

第一条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第一二条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類(貸借対照表及び収支計算書及び財産目録)の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分
- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第一三条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後 3 か月以内に 1 回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第一四条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第一五条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の 3 分の 2 以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第 1 項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第一七条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

- 4 第 1 項及び第 2 項の規定にかかわらず、当該事項について議決に加わることができる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第一六条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人 2 名がこれに記名押印する。

## 第四章 役員及び職員

(役員の数)

第一七条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事 6 名以上

- (2) 監事 2 名以上
- 2 理事のうち一名を理事長とする。
- 3 理事長以外の理事のうち、1 名以上を業務執行理事とする。

#### (役員を選任)

第一八条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 3 監事は、理事又は当社会福祉法人の職員を兼ねることができない。
- 4 理事のうちには、次に掲げる者が含まなければならない
  - 一 社会福祉事業の経営に関する識見を有するもの
  - 二 当該社会福祉法人が行う事業の区域における福祉に関する実情に通じている者
  - 三 当該社会福祉法人が設置している施設の管理者
- 5 監事のうちには、次に掲げる者が含まなければならない。
  - 一 社会福祉事業について識見を有する者
  - 二 財務管理について識見を有する者
- 6 理事のうちには、各理事について、その配偶者若しくは三親等以内の親族その他各理事と厚生労働省令で定める特殊の関係がある者(心泉会定款施行細則、別紙 2-②記載)が三人を超えて含まれ、又は当該理事並びにその配偶者及び三親等以内の親族その他各理事と厚生労働省令で定める特殊の関係がある者が理事の総数の三分の一を超えて含まれることになってはならない。
- 7 監事のうちには、各役員について、その配偶者又は三親等以内の親族その他各役員と厚生労働省令で定める特殊の関係がある者(心泉会定款施行細則、別紙 2-③記載)が含まれることになってはならない。

#### (理事の職務及び権限)

第一九条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、業務執行理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 理事長及び業務執行理事は、毎会計年度に 4 箇月を超える間隔で 2 回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

#### (監事の職務及び権限)

第二〇条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

#### (役員任期)

第二一条 理事又は監事の任期は、選任後二年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 3 理事又は監事は、第一七条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。
- 4 新社会福祉法附則第十四条の規定により、新社会福祉法の施行の際(平成 29 年 4 月 1 日)、現に在任する社会福祉法人の役員任期は、新社会福祉法四十五条の規定にかかわらず、施行日以後最初に招集される定時評議員会の終結の時までとする。

(役員解任)

第二二条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第二三条 必要に応じて、各年度の総額が1000万円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬として支給することができる。

(職員)

第二四条 この法人に、職員を置く。

- 2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員(以下「施設長等」という。)は、理事会において、選任及び解任する。
- 3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

## 第五章 理事会

(構成)

第二五条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第二六条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び業務執行理事の選定及び解職

(招集)

第二七条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第二八条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事(当該事項について議決に加わることができるものに限る。)の全員が、書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき(監事が当該提案について異議を述べた時を除く。)は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第二九条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第六章 資産及び会計

### (資産の区分)

第三十条 この法人の資産は、これを分けて基本財産とその他財産・公益事業用財産の三種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

#### (1) 土地

長野県松本市大字中山字衣下 7494 番地 10	宅地	3,652.03 m <sup>2</sup>
長野県松本市大字中山字衣下 6788 番地 29	宅地	372.37 m <sup>2</sup>
長野県松本市大字中山字衣下 6788 番地 31	宅地	98.01 m <sup>2</sup>
長野県松本市大字中山字衣下 6788 番地 33	宅地	100.86 m <sup>2</sup>
長野県松本市大字中山字衣下 6788 番地 36	宅地	573.73 m <sup>2</sup>
長野県松本市大字中山字衣下 6788 番地 38	宅地	1,658.23 m <sup>2</sup>
長野県松本市大字中山字衣下 6788 番地 39	宅地	113.03 m <sup>2</sup>
長野県松本市大字中山字衣下 6789 番地 3	宅地	49.83 m <sup>2</sup>
長野県松本市大字中山字衣下 6791 番地 21	宅地	298.82 m <sup>2</sup>
	合計	6,916.91 m <sup>2</sup>

#### (2) 建物

ア 長野県松本市大字中山字衣下 7494 番地 10 所在		
	家屋番号 7494 番 10	2,062.87 m <sup>2</sup>
イ 長野県松本市大字中山字衣下 6788 番地 38 所在		
	家屋番号 6788 番 38	2,092.91 m <sup>2</sup>

3 公益事業用は次の各号に掲げる財産をもって構成する

#### (1) 建物

ア 長野県松本市村井町西 2 丁目 17-1 所在		
	家屋番号 17-1	2,152.89 m <sup>2</sup>

4 その他財産は、基本財産、公益事業用財産以外の財産とする。

5 公益事業用財産は、第三八条に掲げる公益を目的とする事業の用に供する財産とする。

6 基本財産に指定されて寄付された金品は、速やかに第 2 項に掲げるため、必要な手続きをとらなければならない。

### (基本財産の処分)

第三十一条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事会及び評議員会の承認を得て、松本市長の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、松本市長の承認は必要としない。

2 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合。

3 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

### (資産の管理)

第三十二条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。



- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(事業計画及び収支予算)

第三三条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第三四条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
  - (2) 事業報告の附属明細書
  - (3) 貸借対照表
  - (4) 収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)
  - (5) 貸借対照表及び収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)の附属明細書
  - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。
  - 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
    - (1) 監査報告
    - (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
    - (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
    - (4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第三五条 この法人の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第三六条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第三七条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の三分の二以上の同意がなければならない。

## 第七章 公益を目的とする事業

(種別)

第三八条 この法人は、社会福祉法第26条の規定により、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。

(1) 有料老人ホーム「有料老人ホームローズガーデン」の経営

2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の3分の2以上の同意を得なければならない。

## 第八章 解散

(解散)

第三九条 この法人は、社会福祉法第四六条第一項第一号及び第三号から第六号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第四〇条 解散(合併又は破産による解散を除く。)した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人のうちから選出されたものに帰属する。

(合併)

第四一条 合併しようとするときは、評議員会の決議を得て松本市長の認可を受けなければならない。

## 第九章 定款の変更

(定款の変更)

第四二条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、[松本市長]の認可(社会福祉法第四五条の三六第二項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。)を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を松本市長に届け出なければならない。

## 第十章 公告の方法その他

(公告の方法)

第四三条 この法人の公告は、社会福祉法人心泉会の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第四四条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人の設立当初の役員、評議員、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基

づき、役員を選任を行うものとする。

理事長	上 條 裕 朗
理 事	上 條 節 子
〃	江 成 俊 雄
〃	野 中 杏一郎
〃	翠 川 洋 子
〃	南 栄 作
〃	宮 越 俊 雄
監 事	秋 葉 勇 雄
〃	橋 場 義 人

平成 12 年	8 月 10 日	制定
平成 17 年	4 月 21 日	改定
平成 18 年	6 月 22 日	改定
平成 19 年	5 月 30 日	改定
平成 20 年	6 月 1 日	改定
平成 20 年	12 月 15 日	改定
平成 24 年	12 月 7 日	改定
平成 25 年	1 月 15 日	改定
平成 29 年	4 月 1 日	改定
平成 29 年	5 月 30 日	改定
平成 29 年	8 月 1 日	改定
令和 3 年	5 月 27 日	改定